

# 第10回 山形京二会報告

東北営業所 アシスタントマネージャー  
森 直人

昨年11月11日（金曜日）にホテルメトロポリタン山形におきまして、第10回「山形京二会」を開催いたしました。当日は30名を超えるお客様や仕入先様のご出席をいただきました。昨年東北地方は東日本大震災や福島第一原発事故という未曾有の災害・事故にみまわれ、かつて経験したことのない混乱と悲しみに包まれました。そのような中、一時は開催も危ぶまれましたが、皆様のご支援とご協力のもと無事開催することが出来ましたこと、心より御礼申し上げます。

今回は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の専任担当役 泉 耕二様（工学博士）をお招きしご講演をいただきました。以下にご講演の概要をご紹介します。

## 演題「価格が誰が決めるのか？」

—世界の航空機産業の新たな流れ—

・日本人の食糧自給率の推移…日本の食糧自給率は約40%しかなく世界で最下位である。にもかかわらず、外食費は日本が一番安い。そこには高い原材料を使いながらも安く美味しいものを提供できる技術が存在する。

・日本人の食文化を支える多品種の料理と器達…日本には約5万人の陶芸家がいる。なぜなら、食べ物・料理毎に器を変える日本人ならではの繊細さがあるからである。

・東北地方を世界でみると…東北6県は日本のなかでどのようにとらえられているか？平均都市間が長く、少子高齢化が集中し人口は年々減少の一途である。しかし視点を変え、東北6県を一つの国と捉え人口・GPD（国民総生産）を世界の国々

と比較すると、スウェーデン一国と同等の潜在能力を持っていることとなる。（九州はノルウェーと並ぶ）

・日本の製造業・国の研究開発投資と国際競争力…日本企業の研究開発投資総額はなんと世界第二位。世界上位100社中30社が日本企業である。米国特許50位の中にも日本企業が18社も入っている。にもかかわらず、世界市場の伸びに伴い日本企業の市場占有率は急速に減少している。技術では勝つが事業で負けしまう、なぜか？

・価格が誰が決めているか？…お客様との（力）関係で決まっている→（利益創出の）シナリオを描いた人が決めている。力関係とは「新たなlife styleを提案した人」

・ではどうするのか…改善ではない、変革である。もっとも重要なことは「生活の質をどう変えるか」という視点、デザイン力や構想力である。等々、沢山の貴重なデータを駆使し、約1時間半にわたりご講演くださいました。

泉様、ご講演ありがとうございました。

